

小平市教育委員会議事録（甲）

— 5 月 定 例 会 —

平成28年5月26日（木）

開催日時 平成28年5月26日（木） 午後2時00分～午後3時30分
開催場所 大会議室
出席委員 森井良子 委員長
山田大輔 委員長職務代理者
高槻成紀 委員
三町章 委員
関口徹夫 教育長
説明のための出席者 有川知樹 教育部長
出町桜一郎 教育指導担当部長兼指導課長
松原悦子 地域学習担当部長
余語聡 教育総務課長
坂本伸之 学務課長
小林邦子 教育施策推進担当課長
相澤良子 地域学習支援課長
照井幸枝 中央公民館長
湯沢瑞彦 中央図書館長
星野賢二 学務課長補佐
関口優一 学校給食センター所長
森田恒明 指導課長補佐
横山明 指導主事
書記 宮崎淳 教育総務課長補佐、塚本真也 教育総務課主事
傍聴者 2名

午後2時00分 開会

（開会宣言）

○森井委員長

ただいまから教育委員会5月定例会を開催いたします。

（署名委員）

○森井委員長

はじめに、議事録署名委員の指名を行います。本日の議事録署名委員は山田委員長職務代理者及び私、森井でございます。

次に、非公開にて取り扱う議題を決定したいと存じます。

本日の議題のうち、教育長報告事項（10）及び、議案第8号から第12号までは、人事案件または個人のプライバシーを含んだ内容でございますので、非公開で取り扱いたいと存じます。

お諮りいたします。

ただいま申し上げました議題について、非公開にて取り扱うことに賛成の方は、挙手願います。

—賛成者挙手—

○森井委員長

ありがとうございます。

挙手全員でございますので、非公開と決定いたしました。

それでは、本日の議題に入ります。

（委員長報告事項）

○森井委員長

はじめに、委員長報告事項を行います。

委員長報告事項（1）平成28年度東京都市町村教育委員会連合会第60回定期総会について。私からご報告いたします。資料No.1をご覧ください。

5月19日木曜日午後3時30分より東京自治会館において、定期総会が開催されました。

高槻委員、三町委員、私、それから随行の宮崎教育総務課長補佐で出席いたしました。

定期総会でございますが、日程6にありますとおり、八つの議案がございました。

議案第1号及び第2号の、平成27年度事業報告及び歳入歳出決算、続いて、議案第3号及び第4号の、平成28年度事業計画（案）及び歳入歳出予算（案）につきましては、いずれも承認でございました。

また、平成28年度は、教育委員会連合会の役員の改選の年となりますことから、議案第5号から第8号までの人事議案が提出され、新たに立川市の松野登教育長職務代理者が会長となる議案を含め、いずれの議案も承認されました。

なお、山田委員長職務代理者には、第3ブロックからの選出役員として、平成26年度から2年間にわたり、常任理事及び研修推進委員としてご活躍いただき、ありがとうございました。

（教育長報告事項）

○森井委員長

次に、教育長報告事項を行います。

教育長報告事項（1）財政援助団体等監査の結果に対して講じた措置について。関口教育長からご説明をお願いいたします。

○関口教育長

教育長報告事項（１）財政援助団体等監査の結果に対して講じた措置についてを報告いたします。資料No.2をご覧ください。

教育委員会４月定例会でご報告いたしました、財政援助団体等監査の指摘事項に対しまして講じた措置を、資料のとおり、監査委員に通知いたしました。

今後は、この措置を確実に実施し、適正な事務処理を行ってまいりたいと存じます。

○森井委員長

ありがとうございました。

教育長報告事項（２）平成２８年５月１日現在の児童・生徒数について。関口教育長からご説明をお願いいたします。

○関口教育長

教育長報告事項（２）平成２８年５月１日現在の児童・生徒数についてを報告いたします。資料No.3をご覧ください。

これは、基幹統計であります学校基本調査の報告数値でございます。

小学校の児童数は、特別支援学級の在籍児童を含めて９，２４６人で、前年と比べ、全体の児童数は９８人の増でございます。

このうち通常の学級の在籍児童数は９，１１５人で、前年と比べ、９２人の増でございます。

また、特別支援学級在籍児童数は１３１人で、前年と比べ、６人の増でございます。

次に、中学校の生徒数は、特別支援学級在籍生徒数を含めて生徒数は４，０５５人で、前年と比べ、全体の生徒数は３１人の減でございます。

このうち通常の学級の在籍生徒数は３，９７０人で、前年と比べ、２７人の減でございます。

また、特別支援学級在籍生徒数は８５人で、前年と比べ、３人の減でございます。

○森井委員長

ありがとうございました。

教育長報告事項（３）平成２８年度小平市立小・中学校の移動教室の実施について。関口教育長からご説明をお願いいたします。

○関口教育長

教育長報告事項（３）平成２８年度小平市立小・中学校の移動教室の実施についてを報告いたします。資料No.4をご覧ください。

各学校別の実施予定表のとおり、小学校につきましては、実施期間は、小平第八小学校、小平第九小学校の５月１６日から、小平第四小学校、小平第十五小学校の７月６日までで、いずれも２泊３日でございます。実施場所につきましては、長野県南佐久郡南牧村野辺山の「帝産ロッヂ」を利用いたします。

中学校につきましては、第3学期に、長野県菅平で冬季スキー教室を予定しております。実施期間は、花小金井南中学校の1月15日から、小平第二中学校の1月28日までで、いずれも2泊3日でございます。

○森井委員長

ありがとうございました。

教育長報告事項（4）組み体操における安全対策について。関口教育長からご説明をお願いいたします。

○関口教育長

教育長報告事項（4）組み体操における安全対策についてを報告いたします。資料No.5をご覧ください。

各学校には、これまでも運動会等における安全対策について指導・助言してまいりました。また、組み体操に関しては、春に運動会を実施する学校に対して個別に指導・助言を行っております。

なお、秋の運動会等における組み体操の実施に当たっては、校長会と教育委員会で協議の上、市としての方針を定め、指導に当たり、安全上の留意点等を通知いたしました。今後も、安全面に配慮した教育活動の推進について支援してまいります。

詳細につきましては、出町教育指導担当部長から説明させます。

○出町教育指導担当部長

それでは、組み体操における安全対策について、ご説明いたします。資料をご覧ください。

全国各地において組み体操における事故が発生している状況を踏まえ、平成28年3月東京都教育委員会から平成28年度都立学校においては、タワー及びピラミッドを原則休止するとの通知が出されました。その通知を受け、本市では児童・生徒の体格、体力、及び運動能力に見合った活動内容となるよう指導計画を見直し、安全対策を講ずるよう4月13日付で全校に通知いたしました。その後、改めて組み体操の安全対策について、校長会と市教育委員会で協議を行い、市としての方針を定め、全校に通知いたしました。5月17日付の通知文をご覧ください。

はじめに、1「タワー」及び「ピラミッド」についてでございます。今年度秋に運動会等を実施する学校につきましては、児童・生徒が肩を組んだ上に別の児童・生徒が立つ「タワー」は2段まで。また、児童・生徒が両手及び両膝を地面につけた上に、別の児童・生徒が積み重なる「ピラミッド」は3段までとし、指導内容を計画するよういたしました。

次に、2、「倒立」、「肩車」及び「サボテン」について、でございます。この3種目につきましては、日本スポーツ振興センターの調査において、「タワー」、「ピラミッド」とともに、事故発生件数が上位になっていることから、安全上の留意点について次のとおりいたしました。「倒立」では、補助役の児童・生徒が、倒立する児童・生徒の正面に立たず、横から足をつかみ、

顔に当たらないように指導する。「肩車」では、下の児童・生徒が、立ち上がる際に前かがみにならず、背中を立てた状態で上の児童・生徒を持ち上げるように指導する。「サボテン」では、土台役の児童・生徒が、上の児童・生徒のすねや足首ではなく、ひざを持つように指導する。以上の3点でございます。

今後、指導課では児童・生徒の安全に配慮し、事項防止の徹底を図るよう、各学校の組み体操の指導内容及び指導計画を確認し、必要に応じた指導、助言を行ってまいります。

○森井委員長

ありがとうございました。

教育長報告事項（5）平成27年度小平市立公民館事業実績について。関口教育長からご説明をお願いいたします。

○関口教育長

教育長報告事項（5）平成27年度小平市立公民館事業実績についてを報告いたします。資料No.6をご覧ください。

公民館では、昨年度も全館で様々な講座を実施し、市民の皆様が自主的に学習するきっかけづくりや、講演会、音楽会、公民館まつりなどを開催し、市民の皆様の交流と活動の場を提供してまいりました。

資料の1ページの概説に各事業で取り組んだ内容を記載してございます。

詳細につきましては、照井中央公民館長から説明させます。

○照井中央公民館長

平成27年度公民館事業実績について、ご説明いたします。資料No.6の1ページの概説をご覧ください。

昨年度は公民館全11館におきまして、84コース636回の学級、講座を開設いたしました。講座への応募者数につきましては、3,173人、受講者数は2,065人でございます。シニア講座では、高齢者の自己啓発と社会活動への積極的な参加を促す仲間づくりや、交流の場として中央公民館では通年講座のシルバー大学、分館では各館10回のシニア講座を開設いたしました。市民講座は、教養、趣味・技術など幅広いテーマで実施し、パソコン講座は、基本的な操作を学び、日常生活で活用できることを目的に実施しました。また、平日に公民館を利用できない方へ向けてサタデー講座を実施したほか、家庭教育講座として、子育てに関する講座を、女性の生き方、権利等に関する講座として、女性問題や人生観を考えるきっかけづくりとなる講座などを実施いたしました。このほかには、地域の若者世代をつなぎ、学習活動を通じた仲間づくりを支援するヤングセミナー、小・中学生を対象としたジュニア講座、軽度の知的障がいのある青年を対象とした、けやき青年教室、時事問題などを取り上げるタイムリー講演会、親子を対象とした音楽会、子どもの居場所づくりとして、土曜子ども広場「友・遊」を実施いたしました。また、

公民館まつりや中央公民館サークルフェアなどを開催し、市民が集う、学ぶ、結ぶ場として、様々な活動の場を提供いたしました。

全施設の利用者数につきましては、なかまちテラス開館などの影響などにより、前年度に比べ、1万639人増の51万8,267人でございます。

○森井委員長

ありがとうございました。

教育長報告事項（6）平成27年度小平市立図書館事業統計について。関口教育長からご説明をお願いいたします。

○関口教育長

教育長報告事項（6）平成27年度小平市立図書館事業統計についてを報告いたします。資料No.7をご覧ください。

前半1ページから14ページまでが蔵書及び利用統計で、15ページ以降は各事業の統計でございます。

1ページ目をお開きください。平成27年度の貸出資料数は、約157万点で、平成26年度より8万6,000点ほど増加しております。

主な理由としては、仲町図書館の建て替えが終了し、年間を通して開館したことによるものと考えられます。

所蔵資料数は、122万4,000点ほどで、昨年度より約1万4,000点増加しております。館別内訳では、仲町図書館が5,600件ほど減少しておりますのは、学校図書館への貸出のために児童書を子ども文庫に移管したためでございます。

17ページの予約件数については、インターネットからの受け付けが開始されて以来、増加傾向にあり、平成27年度は前年度よりも約1万7,000件増加しております。

後半21ページ以降が講演会、講座、家族一日図書館員、及び展示等の行事統計となっております。

なお、平成27年度は、開館時間拡大の試行、小平市立図書館開館40周年記念事業、平櫛田中文庫の開設、国立国会図書館資料デジタル化送信サービスや、中央図書館へのWi-Fi機能の環境整備などを実施いたしました。

○森井委員長

ありがとうございました。

教育長報告事項（7）寄附の受領について。関口教育長からご説明をお願いいたします。

○関口教育長

教育長報告事項（7）寄附の受領についてを報告いたします。資料No.8をご覧ください。

〔Ⅰ〕は、金20万円を青梅信用金庫様より、育英基金への指定寄附として、ご寄附いただいたものでございます。

〔Ⅱ〕は、児童用図書120冊を匿名希望の方より、小平第十二小学校への指定寄附として、ご寄附いただいたものでございます。

〔Ⅲ〕は、テント1張りを青梅信用金庫様より、小平第九小学校への指定寄附として、ご寄附いただいたものでございます。

〔Ⅳ〕は、金3万円を株式会社日立自動車教習所様より、育英基金への指定寄附として、ご寄附いただいたものでございます。

この場をおかりしてお礼申し上げます。

○森井委員長

ありがとうございました。

教育長報告事項（8）小平市教育委員会後援名義等の使用承認について。関口教育長からご説明をお願いいたします。

○関口教育長

教育長報告事項（8）小平市教育委員会後援名義等の使用承認についてを報告いたします。資料No.9をご覧ください。

今回報告いたしますのは7件で、例年、または過去に承認しているものでございます。

○森井委員長

ありがとうございます。

教育長報告事項（9）事故報告Ⅰ（4月分）について。関口教育長からご説明をお願いいたします。

○関口教育長

教育長報告事項（9）事故報告Ⅰ（4月分）についてを報告いたします。

4月の「事故報告Ⅰ」の交通事故、一般事故につきましては、資料No.10のとおりでございます。

詳細につきましては、出町教育指導担当部長から説明させます。

○出町教育指導担当部長

事故報告Ⅰ（4月分）について、報告いたします。

今回ご報告する事故報告は小学校管理下1件でございます。昨年度同時期は交通事故1件、一般事故3件、合計4件ございましたので、各校今年度は事故も少なく落ちついた年度のスタートが切れたと認識をしております。

それでは、小学校での授業中の事故1件について、ご報告いたします。

4月28日午前11時20分ごろ、青空ルームという名称の多目的教室にて体ほぐし運動の一環として、風船を使ったバレーボール形式の運動を行いました。その際、コート中央線に折り畳み式長机の天板を立てた状態でしきりに使用しました。児童同士、2対2の試合形式の運動をしていたところ、使用していた折り畳み式長机中央付近で風船を打ち合おうとした際、折り畳み式長机が倒れ、児童の右足親指付近に当たったという事故でございます。

傷口から出血があったため保健室で止血し、学校からの連絡を受けて来校した保護者と養護教諭が付き添い、タクシーで病院に向かいました。レントゲン検査の結果、右足親指の末節骨折との診断を受け、4針ほど縫合する治療を受けました。学校は保護者と本人に謝罪するとともに、教室移動の際にエレベーターを使用する等の対応をいたしました。また活動に応じた安全配慮を行うよう、改めて教職員間で確認し、再発防止に向けて安全点検を行いました。

当該児童は現在、松葉杖が外れ、ギブス固定の状態です。歩行ができるようになっております。

○森井委員長

ありがとうございました。

ここまでの教育長報告事項につきまして、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。

○山田委員長職務代理者

教育長報告事項(4)組み体操における安全対策について、1点質問させていただきます。小平市内におきまして、過去に組み体操による事故がございましたら、教えていただきたいと思っております。

○出町教育指導担当部長

昨年度、小学校で骨折が1件、それから一昨年度、小学校で骨折が1件、それぞれ1件ずつございました。

○山田委員長職務代理者

ありがとうございます。引き続きまして、児童・生徒の安全へのご指導をよろしくお願ひしたいと思っております。

○三町委員

同じところでの質問です。今、話のあった過去の事故ですが、どういう骨折なのか、お聞きしたいという質問です。

それから2点目は東京都では都立高校ですから、もっと高度なものを求めているので、休止になったと思います。小平では校長会と話し合っ、タワーは2段、ピラミッドは3段にされたということですが、2段や3段という数字は、これまでの国や都の運動会における教育に係

る指導の資料等の根拠があるのですか。それとも安全配慮を考えてということでしょうか。

3点目は、運動会のけがについては、例えば中学校のムカデ競争、小学校の騎馬戦など組み体操だけの問題ではないと思いますので、運動会における、できるだけ運動を楽しみながら行える競技としての安全に対する配慮は、どのような啓発をしているのか、教えてください。

○出町教育指導担当部長

それでは、先ほどの事故の詳細につきまして、ご報告をいたします。

平成27年度につきましては、組み体操の3人技の飛行機の練習をしていました。そのときに土台の二人の距離が離れてしまったために、上の子が落ちてしまい、手首を骨折したという事故でございます。

それから、平成26年度につきましては、こちらは「カシオペア」という技ですけれども、子どもがそれぞれ二人いまして、そのひざに足をつけて真ん中に立つという技でございます。その際、上の児童が後方に落ちてしまい、左の橈骨を骨折いたしました事故でございます。

次に2点目につきましては、この2段3段という具体的な数字でございますが、校長会与協議をする中で、安全に留意をしてみとか、そういう文言ではなく、具体的な数字があったほうが、それぞれの指導がしやすいというようなお話をいただきました。

その際に、この2段3段というのは、学校長が今までの子どもたちの実態を見る中で、これであれば安全が十分確保できるだろうという話し合いの中で出た数字でございます。

3点目につきまして、騎馬戦、ムカデ競争は、委員のご指摘のとおり、安全配慮が足りなければ大きな事故につながるものでございます。これにつきましても組み体操のみならず、4月13日の通知におきまして、運動会全体の安全配慮というようなことでの通知を出させていただいております。また校長会等でもこれらのものにつきまして、十分配慮をするように指導をしているところでございます。

あわせて今この時期熱中症も非常に危ないですので、そういったことに関しまして、校長会、それから副校長会でもお話をさせていただいているところでございます。

○三町委員

わかりました。ありがとうございます。教育活動として行う上でも安全配慮は、当然といわれれば当然なところですが、先ほどの市内の事故の話聞いていても、タワーやピラミッドというよりは、個々の体力、筋力、そういうものに対して配慮がなく、耐え切れずにけがをしている状況だと思いますので、特にそちらのほうを重点にさせていただいて、活動そのものは萎縮することがないようにしてほしいという私の思いではあります。

○森井委員長

ありがとうございました。

このことに関して、他にございますでしょうか。

○高槻委員

関連して感想と質問をさせていただきます。

私の印象としては、危険な競技というのは反面で子どもたちの達成感というのがあります。全員にやらせるということが前提だから、どうしても苦手な子や、骨を折りやすいなど体質的なものもあり、そういう一部の子どもの安全を全員にあてはめようとする、前は5段できたのに3段しかできないということになります。それは達成感をそぐことにつながります。

したがって、安全は最重要であるから一部辞退する子がいてもいいような体制をとるなど、個人個人のことをよく知っている現場の先生が見きわめることで事故を防ぐ配慮をすれば、達成感を経験してもらうことができると思います。安全を過度に優先すると、多くの子どもがこれまで、6年生になり、頑張っただけができるようになったという体験を奪う側面もあるという感想です。

それから質問ですけれども、今回の指示は、都から市へ、そして現場の学校に伝わるという、トップダウンな通達という印象を受けますが、昔よりも今のほうがトップダウン的な傾向が強くなっているようなことがありますか。

○出町教育指導担当部長

達成感というものは、学校行事の狙いの中で大きなウエイトを占めるものだと思っております。ただ、高さを競うなど、そういうものではなくても、仲間と一緒に何かをやり遂げること、安全なものでも、心を一つにしないとそろわないものを入れることにより、十分達成感というものは味わわせる、そういうことができると考えております。

それから通知につきまして、事件や事故など、そういうものが起きますと、発出されてきます。私どもはそれを見て、いつも通知の通りにやるというわけではございません。今回につきましては、市教委としての判断をする中で、学校が何段までと決めればいいのかというようなお話もありますけれども、校長会との話しの中で、市としての一定の段数というもの決めるというような話になりましたので、今回このような通知をさせていただいております。

○高槻委員

わかりました。安全性といっても熱中症のようなものと、組み体操というものは質が違うと思います。何か安全性を重んじる、あるいは危険を避けるということが行き過ぎることによって失われるものもあるということを配慮された上で、進めてほしいと思います。

○森井委員長

今お話にありました達成感とか充実感というものはとても大切なことであると思います。秋の運動会に向けて表現活動については指導や助言ということが必要になるかと思っておりますけれども、小平市は今まで中学校では1校、小学校では数校組み体操をしていますけれども、春の運動会では実施する学校はないという理解でよろしいでしょうか。

○出町教育指導担当部長

小学校においては、2校組み体操を実施いたします。指導主事が実際に学校に行って練習風景を見て場合によっては指導をする、そういう中でより安全に実施できるように市教委としても取り組んでいます。

○森井委員長

わかりました。せっかくの運動会ですので、安全に十分配慮していただいて、子どもたちにとっても達成感の持てる、心に残る運動会にさせていただきたいと思います。また、秋の運動会に向けて学校がどのように進めていったらいいかなど、引き続き指導をよろしくお願いいたいと思います。

○三町委員

平成27年度小平市立公民館事業実績と平成27年度小平市立図書館事業統計について、感想と質問です。公民館に関しては以前もお聞きしましたが、講座名で内容がわかるものというのは、希望者が内容を判断して、選びやすいので応募者が多くなり、講座名で内容がわかりにくいものに対しては応募者が少なくなると思います。できるだけ講座名は参加者がわかりやすいものがいいという感想です。

質問ですが、図書館について、開館時間の試行をして、そしてまた戻しています。それに対して利用者からの意見等があれば教えていただけたらと思います。

○湯沢中央図書館長

4月以降本格実施において、中央図書館は閉館時間を1時間戻しましたが、特にご意見は伺ってはおりません。花小金井図書館、小川西町図書館等は、4月、5月の時期につきましても、1時間伸びた分だけ利用者が増えているということで、引き続き同じ傾向となっております。

○三町委員

昨年のデータをとった上でのしっかりとした判断ということで、ありがとうございます。

○森井委員長

公民館事業実績について伺います。図書館は事業統計になっているので、今までの経年比較ができますけれども、公民館については、全体の利用者数は増えたというお話はありましたがけれども、前年との比較がないので実際の数字として見てとれません、また、例年開催されている講座についても、増えているのであれば、関連した講座を増やしていくなど、毎年たくさんの方にアンケートにご協力いただいていますので、アンケート結果も有効に使っていただきたいと思いません。

それとヤングセミナーについて、若い方のために、平日の夜やお休みの日を設定していただいているのですが、参加者が少ないのが残念だという感想を持ちました。

先ほどのアンケートの調査結果から今年度、新たにいただいたご意見から新設した講座や工夫というものはありますでしょうか。

○照井中央公民館長

大きく見直したものが、シルバー大学になります。シルバー大学につきましては、2年間1クルールの2年制で実施していましたが、1年受講して、すぐに地域の活動に実践としていきたいというご意見や、2年間は長いというようなご意見をいただきまして、昨年度は見直しをして、1年制に戻したということがございます。

○森井委員長

ありがとうございます。お寄せ頂いたご意見を反映していただきありがとうございます。今後また検討していただきたいと思います。

○山田委員長職務代理者

なかまちテラスが開館1年を迎えまして、図書館、公民館ともに施設面なども含めて、利用者からのご意見などがありましたら教えていただけたらと思います。

○湯沢中央図書館長

ご意見としましては、設備や使い勝手についてが幾つかございました。具体的には学習室は音が反響するということでしたので、修繕で対応させていただきました。今後のご意見を伺いながら、直していきたいと思っております。

また、視察についても、多くの団体に来ていただいております。また、先日本配りしました建物のパンフレットを4月から販売して100冊以上売れるなど、注目も集めておりますことから、今後またご意見を捉えながら、さらに利便性の向上に努めていきたいと考えております。

○森井委員長

ほかにもございますか。

○三町委員

寄附の受領について、寄付物件の内容を教えてくださいました。小平第十二小学校への寄附で児童用図書120冊とあります。どんな内容のものか教えてくださいました。

○森井委員長

後でも結構ですので、確認をお願いいたします。

○余語教育総務課長

確認いたします。

○森井委員長

小学校の移動教室ですけれども、現在帝産ロッヂを使わせていただいております、小平市では小平第十一小学校以外は2校同時に同日開催されています。その2校というのは人数で合わせているので、同じ中学校区ということではないと昨年も報告を伺いましたが、小平市内の2校の6年生が同じ宿泊施設を使って、移動教室を行うという、せっかくの機会ですので、昨年度も何かしら、小学校同士の交流ができるといいのではないかとご意見を申し上げました。今年度はそういった取組はされているのでしょうか。

○坂本学務課長

2校で同時に共通的なことをするという事は、伺ってございません。同じ施設ですので、夜間にナイトハイクをいたします際に、これは交流があるということではございませんが、場所が重なってしまうということで、分けあって行うということはしてございます。

○森井委員長

小平市内の同じ学年の子どもたちが一緒になる機会があれば、それをよい機会と捉えていただいて、何かしら一緒に活動ができるといいと毎年思っています。もしもそういう機会があればぜひ取り入れていただければありがたいという感想を持ちました。

もう1点、先月、東京都の教育施策連絡協議会の報告を委員長職務代理者からしていただいたかと思っておりますけれども、その施策を受けて、小平市が今取り組んでいるもの、既に取り組んでいる、これから進めようと思っているようなことなど、現段階で特徴的なものがあれば、教えていただきたいと思っております。

例えば道徳教育、オリンピック・パラリンピック教育など今年度東京都で重点的に進めていく施策についてご説明があったかと思っております。それを受けて各学校でこれから取り組んでいこうと思っていることなどがあれば伺いたいと思っております。また今年度道徳教育推進校を市内2校が受けているかと思っておりますが、その2校には、特別な教科、道徳について研究や、実践を通して市内の学校にも還元するというような役目を担っているかと思っております。そういった2校の取組について、教えていただきたいと思っております。

○横山指導主事

特別な教科、道徳についての先行実施については、上水中学校と小平十二小学校が行います。6月23日に市内の学校等に、道徳教育研修会と重ねて行うつもりでございます。その研修内容を踏まえて各学校が平成30年度、あるいは中学校は平成31年度の実施に向けての研究、準備を進

めているところでございます。

体育、運動に関しては、アクティブライフ研究実践校、スーパーアクティブスクールということで、中学校、小学校それぞれで食育や、体力向上についての研究を進めていくように話がありまして、そこを受けております。また、オリンピック・パラリンピック教育に関しては今年度から全校実施ということで、計画等が提出され、その実施に向けての指導・助言をしていくところでございます。

○森井委員長

わかりました。ありがとうございます。それぞれの学校で研究、研修等進めていただいている、良い取組について、横に広げるため、推進していただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

ほかにご質問等はございますでしょうか。よろしいですか。

ーなしの声ありー

○森井委員長

以上で、教育長報告事項を終了いたします。

(協議事項)

○森井委員長

次に、協議事項（１）平成２８年度小平市教育委員会表彰についてを議題といたします。関口教育長からご説明をお願いいたします。

○関口教育長

協議事項（１）平成２８年度小平市教育委員会表彰についてを説明いたします。資料No.12をご覧ください。

本表彰は、小平市教育委員会表彰等に関する規程に基づき、教育及び文化の振興発展に功労のあった方に感謝状または表彰状を贈呈するものでございます。

今年度の感謝状贈呈の候補者は、校長退職者５名、社会教育委員１名、公民館運営審議会委員２名、学校経営協議会委員６名、学校経営協力者６名、教育相談員１名の計２１名でございます。

なお、表彰式は、６月１６日、木曜日を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

○森井委員長

ありがとうございました。

このことにつきまして、ご質問ご意見をいただきたいと存じますが、「被表彰候補者調書」は個人情報を含んだ非公開資料となりますので、ここでは表彰理由など概要について何かござい

ましたら、お願いいたします。

○山田委員長職務代理者

この表彰は任期を終えた方が表彰対象ということでよろしかったでしょうか。

○余語教育総務課長

規程の中で校長または副校長で退職された方、それ以外に表彰することが適当であると委員会
が認める者と、要綱で規程してございます。その中でも社会教育委員、あるいは教育相談員など
挙げられておまして、4年以上在職し、退職された方、あるいは職によっては5年以上在職し、
退職された方ということで、退職された方が対象となってございます。

○山田委員長職務代理者

ありがとうございます。

○森井委員長

よろしいですか。

ほかにごございますでしょうか。ほかにご質問ございますか。

○三町委員

今の説明だと退職された方のみということのようですねけれども、他の規程に該当する対象者が
いなかったということですか。

○余語教育総務課長

規程の中では、「国、都道府県その他の団体からその内容を高く評価されたもの」「人命救助、
初期消火活動又はこれらに準ずる行為を行ったもの」、そういった項目がございます。今回挙げ
させていただいたのは、校長や社会教育委員等で退職された方の該当がございましたので、そう
いった方を挙げさせていただいているところでございます。

○三町委員

わかりました。

○森井委員長

よろしいでしょうか。

ーなしの声ありー

○森井委員長

それでは、「被表彰候補者調書」につきましてのご質問・ご意見は、非公開の会議にて取り扱うことといたしまして、表彰の概要につきましては、提案どおり了解ということでご異議ございませんか。

－異議なしの声あり－

○森井委員長

以上で協議事項（１）を終了いたします。

（議案）

○森井委員長

次に、議案の審議を行います。

議案第7号、平成28年度教育予算の補正の申出について。関口教育長から提案理由のご説明をお願いいたします。

○関口教育長

議案第7号、平成28年度教育予算の補正の申出についてを説明いたします。

本案は、市議会6月定例会提出議案の原案として、教育委員会が所管する教育予算に係る補正を市長に申し出るものでございます。

補正の内容でございますが、歳出につきまして、社会教育費で486万円を増額いたします。

増額理由でございますが、中央公民館の耐震補強設計を行うことによるものでございます。

なお、ここで増額する中央公民館の耐震補強設計につきましては、国の補助金であります「住宅・建築物安全ストック形成事業交付金」を活用して実施するものでございます。

なお、補助率が3分の1でございますので、おおむね162万円の歳入を見込んでおります。

○森井委員長

ありがとうございました。

質疑に移ります。ご質問ございますか。

○山田委員長職務代理者

この増額におけます費用の中では耐震補強設計ということですが、この予算で耐震工事は全て完了ということでしょうか。

○照井中央公民館長

補正予算で挙げました設計委託費につきましては、今後どの部分の補強が必要なのか、どうい

う工法で実施するののかということ在设计するもので、その設計をもとに、来年度、耐震補強工事の予算を計上し実施いたします。

○山田委員長職務代理者

ありがとうございました。

○三町委員

補強に関して、耐震補強そのものが熊本地震の情報で見ると、不安を感じるような情報が流れています。今回の熊本地震のようなことも含めた、補強も検討した上で、設計されるということでしょうか。

○照井中央公民館長

今回の耐震補強工事につきましては、昨年度実施いたしました耐震診断結果に基づき実施するものでございます。耐震診断の結果につきましては、震度6を想定した場合、倒壊等の危険性は高くはないが危険性はあると診断されておりますので、安全性を確保し、震度6の地震に耐え得る基準値を目標に耐震補強してまいります。

○三町委員

震度6ということですね。

○照井中央公民館長

基準が震度6の地震を想定した場合の安全性の基準値で設定しております。

○三町委員

そうすると、ほかの建物も、例えば学校なども今まで補強されたものは、震度6に対して耐え得るような耐震補強をされていると受けとめてよろしいのでしょうか。

○有川教育部長

耐震でI s値という基準がございまして、これは震度6程度の地震に対しての強度になります。今回の熊本の地震では、震度7が2回というようなこともありましたけれども、基本的に私どもが考えております耐震の強度というのは、何度も同じような揺れを繰り返した場合ということではなくて、それが1回起きたときにすぐには崩れないという強度ということで、考えております。したがって、今後の公共施設の耐用年数も考えながら、今回の公民館につきましては、今説明をいたしました程度の補強をするということを決めたものでございます。

○三町委員

できる範囲のもので、できるだけ安全性を高めていくような形でやっていただけたらと思います。

○森井委員長

よろしいでしょうか。

ーなしの声ありー

○森井委員長

それでは、質疑を終結し、討論に入ります。

ー討論省略の声ありー

○森井委員長

それでは、討論を終結し、採決を行います。

議案第7号、平成28年度教育予算の補正の申出について、本案を原案のとおり決することにご異議ございませんか。

ー異議なしの声ありー

○森井委員長

ご異議なしと認め、本案は可決と決定いたしました。

ここで先ほどの教育長報告事項について、坂本学務課長から発言の要求がございますので、これを認めます。お願いいたします。

○坂本学務課長

先ほどの寄附の児童用図書、120冊の詳細につきまして、絵本、児童文庫といわれるもので、1,000円以内くらいの新しい本でございました。

○森井委員長

ありがとうございます。よろしいですか。

○三町委員

わかりました。

○森井委員長

ありがとうございます。

以上で冒頭に非公開と決定したものを除く議題は終了いたしました。これ以降の議事は非公開にて取り扱いますので、関係者以外の方は、ご退席を願います。

ここで休憩したいと存じます。午後3時20分まで休憩といたします。

午後3時01分 休憩